



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 高松機械工業株式会社  
 コード番号 6155 URL <http://www.takamaz.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)高松 喜与志  
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役 (氏名)溝口 清  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(TEL)076-274-0123(代表)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日~平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	13,232	3.5	993	37.2	1,060	34.3	714	42.1
27年3月期第3四半期	12,785	24.7	724	121.6	790	69.4	502	66.2

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 630百万円(11.4%) 27年3月期第3四半期 565百万円(14.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	64.96	—
27年3月期第3四半期	45.82	45.75

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	19,452	11,772	60.4
27年3月期	19,574	11,303	57.7

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 11,748百万円 27年3月期 11,286百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	5.00	—	10.00	15.00
28年3月期	—	6.00	—		
28年3月期(予想)				12.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日~平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,385	7.6	1,687	24.6	1,773	21.5	1,195	27.7	108.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	11,020,000株	27年3月期	11,020,000株
28年3月期3Q	28,629株	27年3月期	28,629株
28年3月期3Q	10,991,371株	27年3月期3Q	10,967,963株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国を始めとするアジア新興国の景気減速によって一部に弱さもみられるものの、企業業績や雇用情勢が改善し、個人消費も底堅く推移するなど、景気は緩やかな回復基調にありました。

工作機械業界におきましては、内需が堅調に推移する中、外需の勢いが弱まったことで平成27年受注総額が1兆4,806億円(前年同期比1.9%減)と2年ぶりの減少になりましたが、5年連続で1兆円を超え、過去3番目の高水準を記録しました。

このような状況の中で、当社グループの当第3四半期連結累計期間の連結売上高は132億32百万円と、前年同期に比べ4億47百万円(3.5%増)の増収となり、営業利益は9億93百万円(前年同期比37.2%増)、経常利益は10億60百万円(同34.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億14百万円(同42.1%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## ① 工作機械事業

工作機械事業におきましては、海外経済の減速を受けて海外向け受注が低調に推移したものの、全体として堅調に推移しました。

このような状況の中で当社グループは、ユーザーズに対応した提案型営業によって受注確保をはかるとともに、生産能力の引き上げに努め、設備投資計画の推進や生産体制の見直しなど、生産の最適化・効率化を進めてきました。

国内では、補助金等の政策効果によって設備投資意欲が継続してきましたので、国内展示会への出展や本社工場における新製品発表展示会の開催によって、新製品の紹介や生産性向上に貢献するソリューションを提案し、多くの引合・受注につなげてきました。

海外では、受注確保と現地でのTAKAMAZブランドの浸透や評価向上を目的として、海外展示会への出展や子会社でのプライベート・ショー開催など、積極的な営業活動を展開してきました。

製品面では、ユーザーズに応える新機種の開発を行い、「XW-60/60M」「XG-4」「スカイピング加工機」を発表しています。中でも「スカイピング加工機」は、高品位の面粗度を実現するスカイピング加工に特化しており、研磨工程の省除等、加工時間の短縮や設備集約につながる革新機です。

この結果、当第3四半期連結累計期間における工作機械受注高は、100億4百万円(前年同期比8.7%減)となり、工作機械受注残高は63億42百万円(同15.9%減)となりました。

売上高におきましては、119億37百万円(同2.3%増)となり、その内訳は、内需73億円(同22.0%増)、外需46億36百万円(同18.5%減)、外需比率38.8%(前年同期は48.8%)であります。また、営業利益は10億17百万円(前年同期比32.7%増)となりました。

## ② IT関連製造装置事業

IT関連製造装置事業におきましては、半導体及び液晶市場での設備需要が堅調さを維持する中で、生産対応や新規開拓による売上高の確保とリードタイムの短縮や粗利管理の徹底による収益性の改善に努めてきました。

この結果、売上高は5億27百万円(前年同期比0.6%増)となり、営業利益は1百万円(前年同期は2百万円の営業損失)となりました。

## ③ 自動車部品加工事業

自動車部品加工事業におきましては、国内自動車産業の好業績を受けて高い需要が継続する中で、生産体制の強化をはかるとともに、新規受注の獲得や新規顧客の開拓、生産合理化に取り組んできました。一方で、新たな生産ラインの構築に係る費用や、2月に設立したタイの連結子会社の立ち上げに係る費用が利益を押し下げました。

この結果、売上高は7億67百万円(前年同期比30.9%増)となり、営業損失は18百万円(前年同期は19百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

① 資産

当第3四半期連結会計期間末の総資産は194億52百万円となり、前連結会計年度末に比べて、1億21百万円減少しました。

その主な要因としましては、たな卸資産が7億58百万円、受取手形及び売掛金が4億66百万円増加したものの、現金及び預金が13億35百万円減少したことによるものです。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末の負債は76億80百万円となり、前連結会計年度末に比べて、5億90百万円減少しました。

その主な要因としましては、電子記録債務が17億79百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が15億27百万円、未払法人税等が2億79百万円、長期借入金が1億64百万円、流動負債のその他(設備関係支払手形・営業外電子記録債務等)が1億66百万円減少したことによるものです。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産は117億72百万円となり、前連結会計年度末に比べて、4億68百万円増加しました。

その主な要因としましては、利益剰余金が5億38百万円増加したことによるものです。なお、自己資本比率は60.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想につきましては、平成27年11月9日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,875	2,540
受取手形及び売掛金	5,459	5,925
電子記録債権	829	774
商品及び製品	468	883
仕掛品	1,231	1,460
原材料及び貯蔵品	945	1,058
その他	376	428
貸倒引当金	△12	△13
流動資産合計	13,172	13,058
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,520	1,474
土地	2,287	2,287
その他(純額)	909	918
有形固定資産合計	4,717	4,680
無形固定資産	158	123
投資その他の資産		
その他	1,560	1,625
貸倒引当金	△34	△34
投資その他の資産合計	1,525	1,590
固定資産合計	6,401	6,394
資産合計	19,574	19,452

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,664	2,137
電子記録債務	518	2,298
短期借入金	948	848
未払法人税等	338	58
賞与引当金	185	76
役員賞与引当金	37	29
製品保証引当金	55	51
その他	810	644
流動負債合計	6,559	6,144
固定負債		
長期借入金	731	566
役員退職慰労引当金	370	390
退職給付に係る負債	392	381
その他	216	197
固定負債合計	1,710	1,536
負債合計	8,270	7,680
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,835	1,835
資本剰余金	1,818	1,818
利益剰余金	6,879	7,417
自己株式	△11	△11
株主資本合計	10,521	11,059
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	175	203
繰延ヘッジ損益	0	4
為替換算調整勘定	450	362
退職給付に係る調整累計額	140	118
その他の包括利益累計額合計	765	688
非支配株主持分	16	23
純資産合計	11,303	11,772
負債純資産合計	19,574	19,452

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	12,785	13,232
売上原価	9,694	9,798
売上総利益	3,090	3,434
販売費及び一般管理費	2,366	2,440
営業利益	724	993
営業外収益		
受取利息	3	6
受取配当金	7	10
持分法による投資利益	15	17
受取賃貸料	0	21
その他	58	24
営業外収益合計	85	81
営業外費用		
支払利息	10	9
為替差損	7	4
その他	1	0
営業外費用合計	19	14
経常利益	790	1,060
特別利益		
固定資産売却益	2	—
新株予約権戻入益	1	—
特別利益合計	4	—
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	0	1
特別損失合計	0	1
税金等調整前四半期純利益	794	1,059
法人税、住民税及び事業税	241	293
法人税等調整額	50	56
法人税等合計	291	349
四半期純利益	502	710
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△3
親会社株主に帰属する四半期純利益	502	714



## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	502	710
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27	28
繰延ヘッジ損益	△0	4
為替換算調整勘定	37	△76
退職給付に係る調整額	△13	△22
持分法適用会社に対する持分相当額	11	△14
その他の包括利益合計	62	△79
四半期包括利益	565	630
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	565	637
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△7

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。